

### 歳出予算事業概要書

( 簡略番号 014971 ) 当初予算

作成者: 上井 明彦

款 項 目	09 教育費 05 社会教育費 01 社会教育総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	27000000	
					うち復活額	一般財源				
		633	394	579	579	0	0	所属課名	生涯学習人権推進課(生涯学習)	
大事業	115 通学合宿推進事業							内線番号		
中事業	00		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	実施計画計上額	
小事業	00	財源内訳								
細事業	0		0	206	0	270	103			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳		
<p>【事業概要】町内の小学5、6年生を対象に、青少年の家で共同生活をしながら通学する事業を実施します。</p> <p>【事業の必要性】親元から離れて6泊7日の共同生活の中で、テレビもゲームもなく、洗濯や掃除をはじめ身の回りのことは全て自分で行ないます。これらのことから子どもたちの自主性や協調性が生まれ、学校間、異学年の交流も促進され、子どもたちの心身の発達にとっても大切な影響を与える事業です。</p>					区分		金額	財源	款 項 目 節 細 節	金額
					8	報償費	220	都道	14 02 08 03 030	206
					11	需用費	270	諸収	放課後子ども教室推進事業県補助金	
					12	役務費	34		19 05 03 02 075	270
					14	使用料及び賃借料	55		セカンドスクール参加者負担金	
					19	負担金補助及び交付				
2. 根拠法令										
社会教育法										
3. 用地の状況										
4. 基本計画との関連										
【第一次総合計画】次代を担う心豊かな人が育つまちづくり(次代を担う青少年の育成)										
5. 本年度の計画効果										
町内の小学5、6年生を対象に、青少年の家から小学校に通学する事業を実施します。										
時期: 6月下旬頃										
社会教育関係者をはじめ学生の指導協力も得ながら6泊7日で実施する予定です。										
青少年の育成はもちろんのこと、地域で子どもたちを育てるという意識啓発も図られます。										
6. 財源の説明										
参加者負担金 270千円(6,000円×45人=270,000円)										
県補助金 206千円(参加者負担金控除後の経費309千円×補助率2/3=206千円)										
一般財源 103千円( " " ×負担率1/3=103千円)										
目的別										
性質別										